

## 令和8年度 第1回海津市図書館協議会会議録

日 時：令和8年6月30日（火）

10：30～11：45

場 所：海津市役所東館2階

2－1会議室

出席者：海津市図書館協議会委員8名

中川秀一、藤田佐喜子、森島夕理、後藤悦子、山崎見歩、塚本明日香、  
山田洋司、中島康博

欠席者：加藤和英

事務局：近藤市民生活部長、小粥図書館長、山本こども図書館長、藤岡

### 1. 市民生活部長あいさつ、委嘱状の交付、会長・副会長の選出

- ・市民生活部長があいさつし、異動等で委員を代わられた方（中川委員、森島委員）への委嘱状の交付は、机上に置いての交付とした。なお、中川委員には会長として前任から引き継いでもらった。
- ・中川会長にごあいさついただき、以後会長により議事を進めてもらった。

### 2. 議題

#### (1)海津市図書館の現状について

- ・事務局が資料に基づき、図書館の現状について説明し、会長より各委員に質疑を伺う。
- ・昨年度における図書館としての一番大きな事業としては、株式会社トーハン様とのイベントで、海津市図書館で2回、海津市こども図書館で1回開催した。
- ・図書館への入館者数等について、令和6年度に比べて7年度は減少しているが、こども図書館も開館しているので、利用者が分散していることも関係していると考えられる。

◆開館時間が9時から19時ですが、時間が決まった経緯を知りたい。

→手を尽くしたが、分からなかった。

◆17時から19時の月別貸出利用者数を知りたい。

→平均すると、1日約10人。

◆令和7年度議題での検討事項の回答。

①リユースですが、他の図書館では冊数制限を設けているが、海津市図書館で制限を設けていないので、設けてはどうか。

→このご意見をいただいてからのリユース時は、開始から1週間は、おひとり10冊まで（うち雑誌は3冊まで）という制限を設けて行った。

②図書館協議会がここ2年くらいは年1回しか行われていない。その前の年は3月頃にも行われているので、反省会というか、やる方がよいのではないかな。

→今までの図書館協議会は諮るべき議題等があったら開催していたと認識している。昨年度は、相談した結果開催しないことになった。

◆リユースについてですが、保育園にポスターを掲示して、保護者の方にも周知を図って、本の廃棄を少なくするようにしたらどうか。

→保育園や小中学校、社会福祉協議会等にはリユースが始まる前に内覧会のご案内を出して周知している。保護者への周知については、何かできる方法がないか検討させていただく。

◆開館時間ですが、近くの同じような規模の図書館を確認したら、19時まで開館しているところはない。9時から17時または10時から18時というように、開館時間を変更したらどうか。このままでは経費がかかるので、この経費を他のところへ回したらいいのではないかなと思う。

→フルタイムで働いているので、退勤後に本を借りに来るので、開館していないのは困る。毎日でなくてもいいのかもしれないが、夜もやってほしい。

→コロナ禍は17時で閉館していた。やはり19時まで開館してほしいと協議会でお願いしたと記憶している。

→費用対効果もあるので、少人数のために開けておくのかというのも分からないではないが、さびしい。折衷案として、19時まで開館する日を決めるとか、曜日で決めるのも一つの案である。図書館だけでなく、夜も開いているところ（市役所の宿直とかコンビニなど）で本を受け取れるといい。

→時間を短くするということは、図書館の利用者層を絞ってしまうので、あまり賛成ではない。仕事帰りに寄る人たちに向けて、利用者を増やす取り組みをするといいのではないかな。

→先ほど案もでたが、予約しておいて、どこかで受け取れるとよい。他の図書館で同じことを困っているところの解決策でうまくいっているところがあれば、それを参考にするとよいのではないかな。

→仕事帰りに寄れなくなるのは問題がある。親さんの帰りを待っている子ども（中学生・高校生）の居場所としての機能があるなら、そこはきれいなのではないかな。限りある予算のなかでやっているもので、一律どうしてもきらねばということであれば、今回17時から19時で出しているが、他の時間の資料も出して見比べることも必要である。曜日によって開館時間をずらすような形で、毎日9時から17時ではなくて、10時から18時とか、午後から夜まで開いている日があってもいいと思う。予約している本を受け取ればいいという意見も分かりますが、それならアマゾンでいいということになる。知っている本を探して手に入れるだけであれば今はとても便利になっているが、知らない本と出合うことがすごく重要な図書館の役割であると思うので、無書店地帯になっているので、図書館にいる時間は幅広く確保してほしいと思う。利用者の少ない月、多い月があるので、そのあたりも参考に、学校の試験時期は学生の利

用者が増えるということであれば夜まで勉強できるようにできたらよいと思う。

→そもそも開館時間を考えるという形もあれば、利用者を増やす方向にもっていく取組を考えるといいのではという意見もある。時間をずらすという方法もあれば、曜日を決めて開館時間を変える方法もある。実態をつかみながら、今後どうしていくか、費用対効果の部分もあるので、考えていくとよいのではないかとというまとめになる。

◆入館者数、貸出利用者数、貸出数も昨年度より減っているという現状をふまえながら、事務局としては減った要因を何かとらえているか。

→人口が減ったことも要因ではある。後から出てきますが、こども図書館と合わせると入館者数としては増えている。貸出利用者数や貸出数は減っているという状態にはなる。

→今までと違ったイベントを工夫していく予定。図書館は誰でも自分の居場所にしていきたいと思うので、費用をおさえながらみなさまに来ていただけるように図書館・こども図書館も併せて頑張っていきたいと思う。

→先日、名古屋市公会堂に行ったときに、スペースがあるところに中学生や高校生が本当にたくさん勉強したり憩いの場として活用していた。海津市図書館では、このようなスペースはあるか。

→2階にも学習スペースはあるが、1階にもあり、勉強する学生はもちろんのこと、大人が読書したり勉強したりしている。たくさんみえる時は、座るところがないほど混雑している時もある。

→そういうスペースがあることが分かった。こどもたちの居場所づくりをしていた。学校で周知したことはないが、司書部会があるので、司書を通じて言ってもらえれば周知する。

→学校を通じてPRしてもらえればありがたい。

→子どもを通じて保護者の方に周知していければと思う。

◆デジタル図書館の利用者が少ないのですが、例えば周知活動をこういう風にするとういとかいうのがあればご意見ください。

→最初、1千万くらい費用がかかっている。

→当初、コロナの補助金を活用して導入しているので、導入時は金額が高くなっている。システムクラウド使用料は、昨年までは毎月55,000円、今年からは毎月66,000円かかっている。

→県もやっているし、他の市町村もやっているなら、別に海津市がやる必要はないのではないか。書籍の購入や他のイベントを行うとかそういうお金にまわしたらどうか。

→始めたから辞めないのではなく、辞めるということも選択肢の一つとして担当の方にも検討させていく。

→興味があったから利用してみたが、結局自分が読みたい本があるかという問題と、読みたい本があっても読んでいると疲れる。そういう人も結構いるのでは

ないかということと、これくらいなら国会図書館とか他の図書館とか案内してもらおうとその気がある人なら利用できるのでは、デジタル図書館をおかなくてもいいのではないかと。

- ◆図書館の外の川の所に柵をつくったらどうかと令和4年と5年に話が出ているが、読書ガーデンは小さい方もおみえになるので、何かあってからでは遅いので、対応をお願いします。

→現場を確認させてください。それから対応を考える。楽しいイベント時に事故があっては大変ですので、見させてください。

→川沿いは県ですね。だから、海津市ではどうにもできないのではないかと。

→図書館の敷地内に建てるという意見ですね。

→読書ガーデンが狭くなってしまうのではないかと。

→見させてもらって、そのとき代替案があれば出す形で進める。

- ◆デジタル図書館の読みたい本の導入とか周知方法の仕方、学校で周知できる部分があれば周知させていただく。

→理想としては、お子さんたちに使っていただくとよいので、また周知させていただく。

→タブレットで使えるのかどうか。

→タブレットで使えるようにすることは可能だが、別の面で費用がかかる。

→費用対効果の話もあるので、先ほどの話のように辞めるという方法もある。イベントの話で言うと、費用の話と、安心安全というのが一番大前提なので、どのようにしていくかを考えていく必要がある。多くの方が図書館に来ていただいて心豊かな生活を送っていただけるようにしていけるといい。

## (2)「海津市こども図書館」開館後の状況について

- ・事務局が資料に基づき、海津市こども図書館の開館後の状況について説明し、会長より各委員に質疑を伺う。

- ◆入館者数はどのように数えているのか。

→こども図書館はカウンターがないので、目視で確認して数えている。海津市図書館は、カウンターがついているので、それで確認している。

- ◆8月、9月、11月にイベントをすると伺ったが、それ以外にもボランティア団体様がやってくださる催し物があれば教えてください。

→海津市図書館

- ・おはなし会 第1土曜日

参加者 多いと15名くらい、少ないと5名くらい

- ・読書ガーデン 土・日 年4回予定 天気の関係もあり開催は1回

参加者 10名から20名くらい

- ・その他、スタンプラリーや映画会を行った

海津市こども図書館

- ・“絵本であそぼっ”　ぴよぴよおはなし会　第1水曜日

参加者　多いと10名以上、少ないと5～6名

- ・“絵本であそぼっ”　おはなし会　第2日曜日

参加者　多いと50名以上、少ないと20名前後

- ・“むすんでひらいてぐうとばあ”　読みあそびとワークショップ　月1回

参加者　毎月10組以上

- ・“むすんでひらいてぐうとばあ”　大人向けのおはなし会　年2回

→毎月、地元で読み聞かせに参加するが、分館ということもあり、少ないと3、4組くらい、多いと10組くらいの参加である。来館者数にカウントされていると思うが、次回資料の添付をお願いしたい。

### (3)その他

◆図書館司書を3名配置しているが、もう1名配置できるよう募集を指示した。

長い目でみていただき、ご承知おきください。

→司書は専門職なので、会計年度任用職員という1年更新の立場ではなく、司書だけでも正規の職員にならないか。

→市で司書を雇うという考え方もあるし、指定管理という方法もある。1年かけて勉強し、来年報告させていただく。

(閉会 11:45)